

【記入例】申告する方が同一世帯員の場合

～〔妻〕松山花子さんが自身の申告をする場合～

〔妻〕松山花子さん：収入「あった」

(国民年金『収入』71万円と個人年金『所得』22万円【収入81万円－必要経費59万円】)

※〔世帯主(夫)〕松山太郎さんは、非課税年金(遺族年金、障害年金等)以外の公的年金のみを受給しているため提出が不要

(宛先) 松山市長

(令和 年 月 日記入)

令和 7 (2025) 年度 国民健康保険料所得申告書

本庁・支所
受付

チェックは
不要です。

裏面「申告書の書き方」をご確認の上、記入してください

必須 世帯主 (納付義務者)	住所 (方書)	松山市 二番町四丁目7番地2	フリガナ	マツヤマ タロウ	生年月日	大平 〇〇年〇〇月〇〇日
	氏名	松山 太郎	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
世帯主以外の方が申告する場合は、必ず「申告する方」欄を記入してください。また、同一世帯員でない方が申告する場合は、下の□にチェックをいれてください。 □は、国民健康保険料所得を以下の者に委任します。						
申告する方 (世帯主以外が申告する場合、必ず記入してください)	住所 (方書)	松山市	フリガナ	マツヤマ ハナコ	生年月日	大平 〇〇年〇〇月〇〇日
			氏名	松山 花子	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

松山市国民健康保険条例第24条の2の規定により、令和6年1月1日から12月31日の収入・所得を記入してください

申告対象者	氏 名	① 松山 花子	世帯主(国保に加入していない世帯主(擬制世帯主)も含む)と同じ世帯の国保加入者のうちで、国保の所得申告書の提出が必要な方 ※〔世帯主(夫)〕松山太郎さんは、非課税年金(遺族年金、障害年金等)以外の公的年金のみを受給しているため提出が不要です。
	生 年 月 日	② 大平 〇〇年〇〇月〇〇日	
	令和7年海外転入の確認	③ 該当の場合はチェック□1月2日以降海外転入	
	収入の有無 いずれかを○で囲む	④ 収入が なかった → 記入終了 あった (④以降に記入)	

※金額は、数字で右づめで記入し

令和6年1月1日から12月31日までの収入・所得	(非課税のため金額不要) 非課税所得 該当を○で囲む	④	遺族年金	障害年金	雇用保険の失業給付	療養給付や休業補償	遺族年金	障害年金	雇用保険の失業給付	療養給付や休業補償	遺族年金	障害年金	雇用保険の失業給付	療養給付や休業補償
	給与収入(総収入) (アルバイト・パート等も含む)	⑤												
	専従者給与受給額 ※受給している方のみ記入	⑥												
	(遺族・障害年金を除く) 公的年金等の収入 該当を○で囲み、金額を記入してください ※複数該当する場合は合計額を記入してください	⑦	国民年金	厚生年金	共済年金	企業年金等	国民年金	厚生年金	共済年金	企業年金等	国民年金	厚生年金	共済年金	企業年金等
			710000											
	営業等所得	⑧												
	農業所得	⑨												
	不動産所得	⑩												
	専従者給与(控除)額 ※事業専従者がいる場合のみ記入	⑪												
	利子所得	⑫												
	配当所得	⑬												
	その他の所得 該当を○で囲み、金額を記入してください (記載以外の所得に該当する場合は、空欄に所得の種類を記入してください) ※複数該当する場合は、お問い合わせください	⑭	個人年金収入	810000	必要経費	590000	(控除) 所得(特別控除後)	220000						

公的年金以外の個人年金の場合、個人年金を○で囲んだ上で、令和6年1月1日から令和6年12月31日までの1年間に受け取った総収入金額、必要経費(掛け金等)、所得(=収入金額－必要経費)を記入してください。
※公的年金以外の個人年金や生命保険の満期返戻金等の場合の必要経費の額は、生命保険会社等から送られてくる支払い証明書等でご確認ください。

記入は以上です